

## 競技上の注意と確認事項

### 1 競技規則

本大会は、令和6年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

### 2 競技会場

(1) 競技会場・コートの広さは、以下のとおりとする。

○福岡市総合体育館「メインアリーナ2面」(40m×20m) / 「サブアリーナ1面」(40m×20m)

(2) 別紙「感染拡大防止ガイドライン」「会場使用上の注意」等を遵守して使用する。

### 3 種別及び参加人数

参加人数は、チーム役員4名以内・選手20名以内の合計24名以内とする。

ただし、ベンチ入りの選手は、「16名以内」とする。

### 4 競技方法

(1) 競技方法は、以下の通りとする。

【男子】リーグ戦および代表決定トーナメントとする。

【女子】リーグ戦とする。

(2) リーグ戦の順位決定法は、以下の通りとする。

①勝ち点が多い方が上位とする。

(正規時間での勝利は、「勝点2」とし、引き分けは「勝点1」とし、負けは「勝点0」とする。)

②勝ち点が同点の場合は、該当チーム対戦間の勝利チームが上位とする。

③②で決まらない場合は、該当チーム対戦間の総得失点差の多いチームが上位とする。

④③で決まらない場合は、該当チーム対戦間の総得点が多いチームが上位とする。

⑤④で決まらない場合は、全試合の総得失点差の多いチームが上位とする。

⑥⑤で決まらない場合は、全試合の総得点の多いチームが上位とする。

⑦⑥で決まらない場合は、抽選とする。

### 5 参加資格

参加資格は、実施要項「6-(1)~(3)」のとおりとする。

臨時トレーナーについては、別に定める。(※競技上の注意「16」参照)

### 6 競技日程・時間

(1) 競技日程は、プログラムのとおりとする。

(2) 競技時間は、男子・女子のリーグ戦は「前半20分-休憩10分-後半20分」とする。

男子の代表決定(順位)トーナメント戦は、「前半25分-休憩10分-後半25分」とする。同点の場合は、下記の通り、延長戦を行う。

【トス~第1延長(前半5分-休憩1分-後半5分)~7mスローコンテスト(5名)】

(3) 競技時間は、加算式の電光表示板を使用し表示する。(卓上電光表示板を使用することもある。)

(4) 競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザー・ホーン、または笛で行う。

(5) ①退場者の番号と入場時間は、電光表示板(退場タイマー)または、「記録席上に用紙で表示」する。

②入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけられても回答しない。

## 7 大会使用球

大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球とする。

○モルテン・・・男子2号球(H2D4000-RW) / 女子1号球(H1D4000-BW)

## 8 トス・ユニホーム

- (1) トスは、ユニホーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。その際、チーム役員の服装(色)及び臨時トレーナーの有無についても確認する。※11(5)、17(1)
- (2) トスの際には、チーム受付で配付した「エントリーシート」にベンチ入りする選手に○をつけて提出する。
- (3) 第1試合のユニホームの確認は、試合開始30分前に記録席前で行い、その後は前試合のハーフタイムで行う。確認の際には、試合に着用する全ての種類のユニホームを持参する。調整がつかない場合は、組み合わせによるチーム番号の大きいチームが変更する。
- (4) ユニホームについては、下記の通りとする。条件に満たない場合は、当て布等で覆わなければならない。その色はユニホームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。
  - ① 番号の大きさ(高さ)は、胸10cm以上・背20cm以上とする。
  - ② メーカーのロゴは、20cm<sup>2</sup>以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。
  - ③ 背中に氏名等の文字表記をする場合は、大きさ(高さ)10cm以内とする。
  - ④ 試合中にユニホームが破損したり、血液が付着したりして競技を続行できない時は、別のユニホームに着替えなければならない。その場合は、異なる番号でも良い。
  - ⑤ チームは、ユニホームとして「シャツ・パンツ・ソックス」の色をそれぞれ統一すること。ソックスは、色が揃っていればよく、メーカーのロゴは問わない。
- (5) ゴールキーパー
  - ① チームで同色とする。
  - ② コートプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。併せて、登録されたゴールキーパーと同色のユニホームを着用することは許される。
- (6) 身につけられるものについて
  - ① 短パンツの下に着用するサイクリングパンツやウォームパンツ(アンダーウェア)は、短パンツの基調色か、同色とし、チームで統一していれば着用できる。
  - ② ユニホームの外にアンダーウェアが出る場合があっても、立っている状態で見えなければ正さなくてよい。
  - ③ 長袖のアンダーシャツ・アーム(ロング)スリーブ等は、ユニホームに使用されている基調色と同色であれば着用できる。
  - ④ ふくらはぎのコンプレッション(加圧)サポーターは、靴下と同色であれば着用できる。
  - ⑤ 複数の部位を覆うサポーター等やメーカーのロゴが20cm<sup>2</sup>以上ものは着用を認められない。
  - ⑥ 金具入り等、敵味方を問わず他の選手に危害を与えるものについては、その着用を認めない。
  - ⑦ 眼鏡及びスポーツゴーグル等を使用する際には、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレーム等については使用できない。
  - ⑧ 詳細は、「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。
- (7) 眼鏡・スポーツゴーグル  
眼鏡及びスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。  
ただし、金属製のフレーム等については使用できない。

## 9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 事前に所定の手続きを完了した登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することができる。
- (2) 交代地域には、チーム責任者1名、チーム役員3名以内、選手16名以内の合計20名以内が入ることができる。
- (3) チーム役員・選手の変更については、5月31日(金)までに変更申請が完了したことで決定する。

※変更一覧は、事前にデータで送信し、当日、会場(受付)でも配付する。

- (4) ①トスの際には、テクニカルオフィシャル(以下:TO)に登録証を提出する。  
提出不可、または不備(写真添付なし等)があった場合は、試合に出場・参加することはできない。
- ②TOが、試合前に交代地域にてチーム役員・選手及び登録証を確認する。  
試合中は、TOが登録証を管理し、試合終了後に両チーム代表者に返却される。
- ③失格したチーム役員・選手、または、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、その場で返却しない。
- (5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・C・Dカード」を着用し、試合終了後に返却する。  
チーム責任者は、「Aカード」を着用する。

## 10 公式記録用紙

- (1) 記録用紙は、公式記録用紙とする。(※ランニングスコアの記載なし)
- (2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・カード、選手氏名・背番号」を責任を持って確認し、サインをする。公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

## 11 交代地域 ☆交代地域:「3.5mラインを始点とし、センターラインから12mの範囲まで」

- (1) 各チームのボール等の用具類は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。  
競技開始後は、ボールに触れることを含めてボールの使用を禁止する。
- (2) 飲料水は、飲み口の細い「個人の容器」を使用し、コップの使用を禁止する。  
感染予防対策として、ペットボトルを用いたチーム内の回し飲みも禁止する。
- (3) 交代地域では、通信機器の使用を認める。  
詳細は、JHAホームページ「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。
- (4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることは認める。  
ただし、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位のままで観戦することは不可とする。
- (5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。  
トスの際にユニホームの色が確定した後に、役員の色を確認する。
- (6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。  
ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。

## 12 チームタイムアウト

- (1) チームタイムアウトは、1試合で3回請求することができ、前後半にそれぞれ最高で2回まで請求することができる。  
また、試合の後半残り5分間は1回しか請求できず、延長戦は請求できない。
- (2) チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出することができる。  
請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア(3.5m)を越えたらグリーンカードを提出しなければならず、躊躇することは許されない。  
ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない時があるので、その場合は、グリーンカードをチームに戻す。
- (3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。
- (4) グリーンカードは、TOが直接受け取ってよい。

## 13 休憩時間(ハーフタイム)

- (1) 休憩時間のコート使用は、次試合のチームが練習のため使用する。
- (2) コートの使用時間は「9分」とし、後半開始までの残りの1分間は、コート整備等の時間とする。  
※タイマーは「9分の減算表示」とし、9分のブザー合図で速やかにコートアウトする。

#### 14 テクニカルオフィシャル、裁定委員会

- (1) 本大会は、各試合にTOを配置する。配置は2名を原則とし、マッチオフィシャル(MO)兼務タイムキーパーを担当するテクニカルデレゲート(TD)、及びスコアキーパーを担当するTDで対応する。
- (2) テクニカルオフィシャル(MO・TD)は、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するため審判員・全競技役員・補助員と協力して試合を管理する責任者である。
- (3) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長などとする。  
なお、必要に応じて関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日中に裁定して関係者に通知する。

#### 15 次の試合のチーム役員・選手のフロアへの入場

次試合のチーム役員・選手は、前試合が終了後に両チームの挨拶が終了するまで、フロアへの入場を禁止する。競技中に次試合の役員・選手が、フロアで練習をしたり、試合を観戦したりすることがあってはならない。

#### 16 臨時トレーナー

- (1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。  
トスの際には、必ずTOに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。
- (2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。  
選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。
- (3) TOが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

#### 17 表彰

競技2日目に、最終試合の終了後に優勝・準優勝の表彰を行う。

#### 18 感染症対策・危機管理

- (1) 大会期間中は、うがい・手洗い等、健康に十分配慮する。競技会場の内外において、マスクの着用は任意とする。  
遠征先でも万一の事態に備える。
- (2) 自己管理・感染症予防のためにホテル滞在中は、各室でも個人的に感染予防に積極的に取り組む。  
大会前から練習中はもとより、生活全般で体調管理に留意する。
- (3) 各チーム・各人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

#### 19 観客席

- (1) 今大会は、スポーツ競技活動を通じた社会教育活動の一場面でもある。各チームの役員は、「競技上の注意」「会場使用上の注意」などを選手たちに徹底させる。
- (2) 入館や退館の時間や人数の制限は、行わない。

#### 20 申込チームの欠場(辞退)の場合

- (1) 欠場(辞退)による代替出場は行わない。
- (2) 欠場(辞退)チームの大会参加記録は、「参加」として記録する。
- (3) 試合記録は、欠場(辞退)のチームの不戦敗とし、スコアは0-16とする。